

# 子ども達からのすてきなエピソード

2024.09.02

毎日の猛暑ですが、手足口病後はみんな元気でプール活動を楽しんでいます。  
先月に引き続き子ども達のエピソードを紹介します。

## < 絵本の読み聞かせにて >

子ども達は絵本が大好きです。繰り返し読んでる中で「ザーザー」「ガチャガチャ」等の「オノマトペ」を一緒に言ったり、歌絵本を見ながらそれぞれの月齢の子ども達が楽しそうに一緒に歌っています。元気な声ですがとても心地よい声です。体を揺らしたり手振りを交えることもあります。



### 2歳7ヶ月の男の子

少し前まで喃語のような言葉を発語したり、問いかけにうなづいたり、思いが伝わらないと泣いたり。でも繰り返し単語を伝えたり、できない時は「てつだって」ということを伝えていたら困難な時に「てつだって」としっかり発語できるようになり物の名称などもどんどん覚えて発語するようになっていきます。この前は兄の影響か「にじ」の歌を口ずさんでいました。



### 2歳4ヶ月の女の子

「せんせー、できたあ」「てあった」「きれいになった」(手洗い後見せて)「だれもないねえ」「みんなかえっちゃったね」ついこの間まで口の中で不明瞭な言葉を話していたのに、自信もついたのか笑顔で話しかけてくれます。思いが伝わらなくて泣くこともあります。私達との会話を楽しんでいるようです。



これは先日、勉強するために数日間園を離れた後にクラスに入って感じた子ども達の成長です。とても驚いたと共にその成長を感じさせてくれたこども達に感謝しました。

私達の言葉を耳でしっかり聞き発語したいという欲求がでてきて、相手にも話したい、伝えたいという思いが単語や一語文、二語文となって出てくるようになったと思います。

「言葉の爆発期」なのかなと思います。そして、0～3歳頃は良くも悪くも無意識に周囲の環境を何でも吸収する心(吸収する精神)を持っています。大人は良い環境のお手本でありたいですね。

ご家庭でのエピソードもぜひ教えてください、お待ちしております。